大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添　大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。

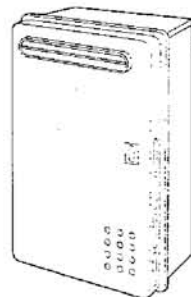
おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして(火気に注意して)、大阪ガスにご連絡ください。

SAP8147

SAP8147 T

ガス給湯器

34-895/896/897型

<BL認定品>　型式名　GQ-2421WXS
GQ-2421WXS-T
GQ-2421WXS-TB

(34-895型)

(台所リモコン)　(浴室リモコン)

もくじ

取扱説明書

大阪ガス

このたびは大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

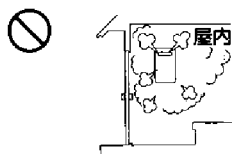
■危害・損害の程度による内容の区分

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

	感電注意		禁止
	高温注意		火気禁止
	アース必要		接触禁止
			分解禁止

⚠危険

屋内設置の禁止

●この本体は屋外設置形です。屋内(浴室内含む)への設置は、絶対にしないでください。
　一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠警告

ガス漏れ時の処置

火気禁止

ガス漏れに気づいたときは、次の1～2の処置が終わるまでの間、絶対に
●火をつけない。
●電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しをしない。
●周辺の電話も使用しない。
　火や火花で引火し、火災のおそれがあります。
1. すぐに使用をやめ、本体のガス栓を閉じる。
2. お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

使用ガス、電源の確認

(銘板) 部分を確認してください。

●銘板(ラベル)に表示しているガスの種類(ガスグループ)以外では使用しないでください。
　表示以外のガスで使用すると、異常な燃焼・点火の時の爆発などの原因になります。
●電源はAC100V,50Hzまたは60Hz用です。
　他の電源で使用すると火災・感電の原因になります。
●わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

火災の予防

●本体や排気口のまわりに燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など)を置かないでください。
　火災の原因になります。

異常時・緊急時の処置

1. 給湯栓を閉める。
2. 運転スイッチを「切」にする。
3. ガス栓・給水元栓を閉める。

●異常時(排気口から煙が出る、こげ臭いなど)または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐにお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
　火災・感電・故障などの予防のため。

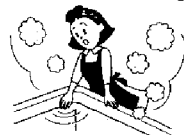
波板囲いなどの禁止

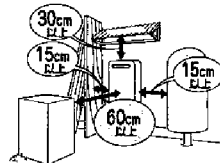
●この本体は屋外設置形です。増改築などによって、屋内状態にしないでください。
また、波板などによって囲いをしないでください。
　一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

⚠警告

やけどに注意

●シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。
やけど予防のため。

●入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。
やけど予防のため。

周囲の防火措置について

●本体のまわりに燃えやすい物(樹木・木材・箱など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。
火災予防のため。

製品の設置・移動工事は

●製品の設置・移動及び付帯工事は、販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。
思わぬ事故を予防するため。

⚠注意

やけどに注意

●排気口のまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。
やけど予防のため。
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

用途について

●台所・お風呂などの給湯、シャワー以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため。

本体のまわりはきれいに

●本体のまわりはいつもきれいにしておいてください。
まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、本体の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、本体の損傷や火災の原因になることがあります。

お願い

アースの確認

●この本体には、アースが必要ですので確認してください。
本体が故障した場合、感電の原因になります。

停電時の処置

●停電したときは、運転が停止します。
●停電後、再通電するとリモコンの時刻表示が点滅表示になる場合があります。なお、設定した給湯・ふろ温度表示なども、お買い上げ時の設定に変わる場合がありますので確認してから使用してください。
(電源プラグを抜いたときも同じです。)

電源プラグは確実に

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。
ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

市販の補助用具使用について

●この本体の純正部品以外は使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため。
●水圧の低い地域では、泡沫水栓を使用しないでください。
●給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
(わからないときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください。)

感電に注意

●電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。
感電の原因になります。

抜き差しはプラグを持って

●電源プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなってください。
電源ケーブルを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・火災の原因になります。

本体・リモコンの分解禁止

●本体・リモコンは絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

リモコンについて

●リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。
変形する場合があります。
●浴室リモコンは防水型ですが、故意に水をかけないでください。
故障の原因になります。
(台所・増設リモコンは防水型ではありません。)
●台所・増設リモコンに炊飯器、電気ポットなどの蒸気を当てないでください。
故障の原因になります。

お願い

積雪時の注意

●積雪時には排気口の点検、除雪をおこなってください。
排気口への積雪や屋根から落ちた雪により排気口がふさがれて不完全燃焼し、本体の故障の原因になることがあります。

凍結に注意

●冬期は、凍結による本体の破損予防のため必要な処置をしてください。
(☞P20)
凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。 (☞P21)

ガス事故防止

●使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

太陽熱温水器との接続時の注意

●太陽熱温水器と接続できますが、高温のお湯が出るなどやけどの危険がありますので、注意してください。

温泉水や自家用井戸水で使うと

●水質によっては、本体内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合があります。

日常のお手入れ

●浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

排気ガスについて

●排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置してください。増改築時も同様に注意してください。
ガラスが割れたり、変色する原因になります。

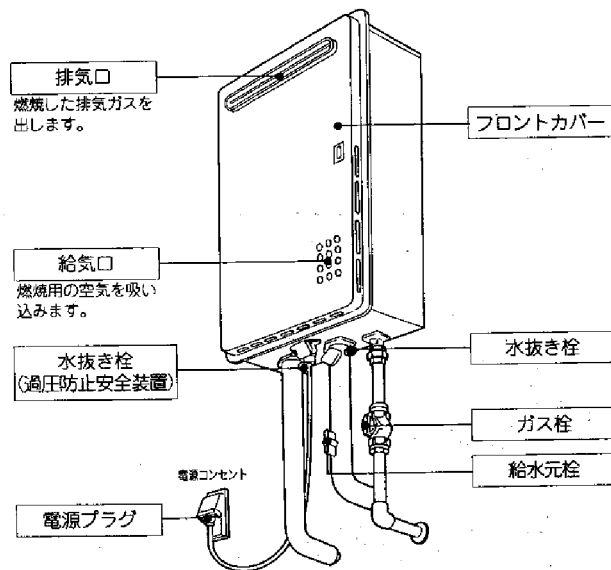
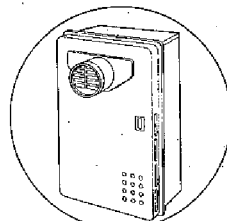
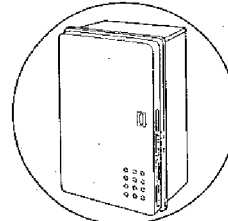
飲用にお使いのときは

●長時間使わなかった後の使い初めのお湯は、念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用・調理にお使いください。

この製品は一般家庭用です

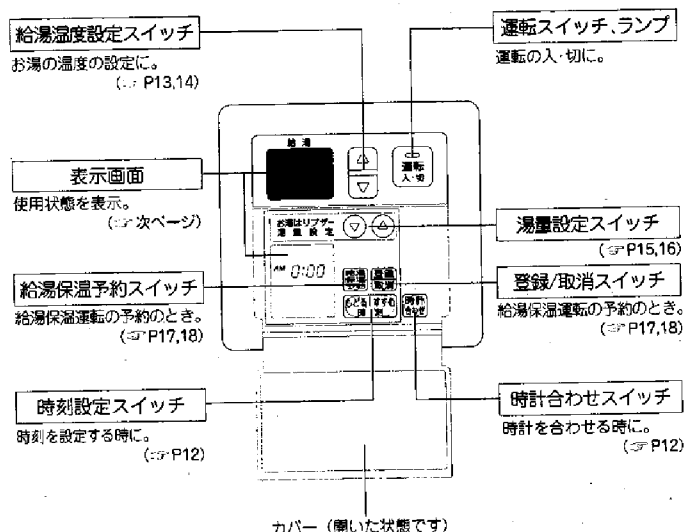
●業務用のような使い方をされると、製品の寿命を短くします。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

各部のなまえとはたらき -1

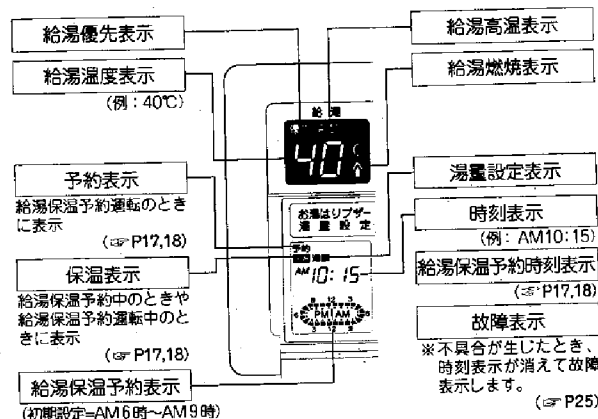
本体

※上のイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

各部のなまえとはたらき-2

台所リモコン

(台所などに取り付けます)

※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

表示画面

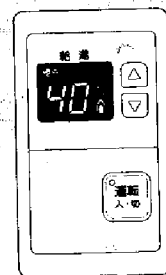
下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。

増設リモコン(45-056型)<別売品>

寝室やリビングルームなどから
・運転スイッチの「入／切」
・給湯温度の設定
ができます。

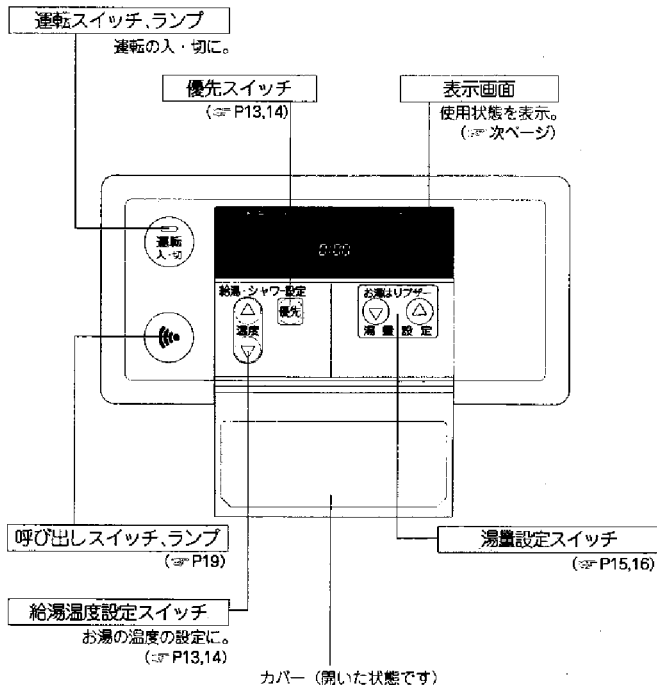
<給湯温度の設定のしかた>
「優先」を切り替えてから給湯温度設定スイッチで設定する。(P14参照)

● 「優先」の切り替えかた
運転スイッチを押していったん「切」にし、再度運転スイッチを押して、表示画面に「優先」を表示させる。

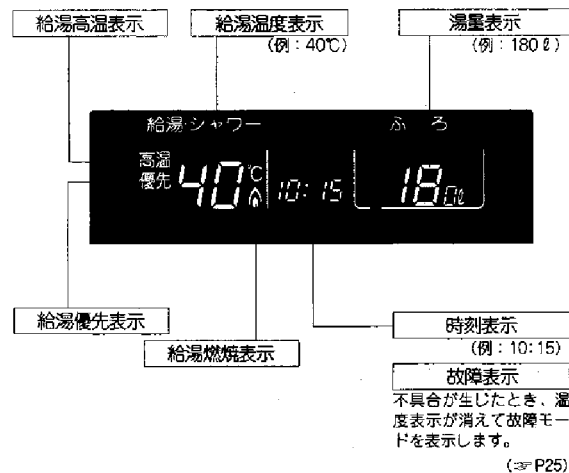
シャワーなどお湯を使用中のとき(表示画面に給湯燃焼表示「🔥」を表示しているとき)は、「優先」を切り替えないでください。

※表示画面は台所リモコンと少し異なります。

各部のなまえとはたらき -3

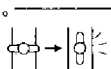
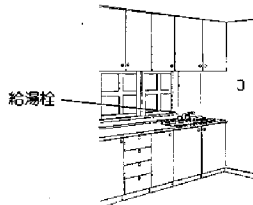
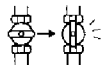
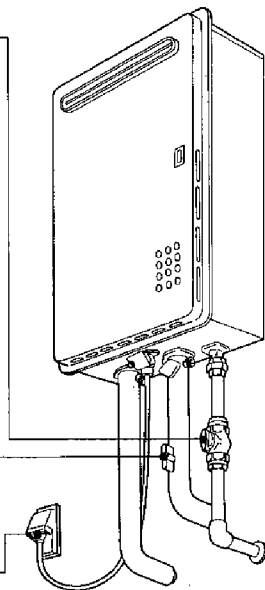
浴室(シャワー)リモコン(38-750型)<別売品>

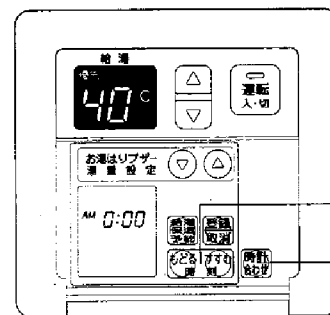
(浴室に取り付けます)

※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

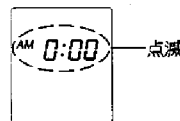
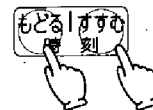
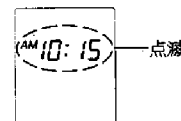
表示画面

下記の表示画面は、説明のため全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。

初めてお使いになるときは

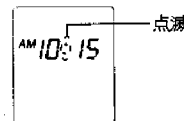
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1 ～ 4 の手順でおこなってください。

現在時刻を合わせる

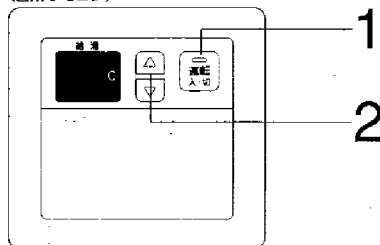
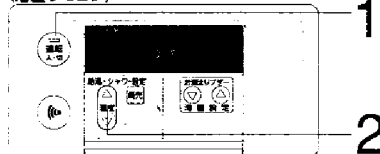
運転スイッチ「入・切」に関係なく設定できます。
（下の画面表示は運転スイッチ「入」の状態です。）

1 時計合わせスイッチ押す

《AM 0:00》が点滅します。

2 時刻を合わせる

一度押す毎に1分ずつ変わります。押し続けると10分ずつ変わります。

例：「午前10時15分」のとき

3 時計合わせスイッチ押す

点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。

使いかた

お湯の出しかた

(台所リモコン)

(浴室リモコン)

(ここでは台所リモコンでご説明します)

1 運転スイッチ押す

ランプが点灯します。

前回に設定した温度(例:40℃)

⚠警告 やけど予防のために

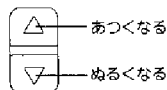
高温注意

- シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 60℃, 75℃に設定したときは《60》《75》の表示が点滅(約10秒)後、点灯してお知らせします。
- 60℃, 75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。表示の温度をよく確かめてから使用してください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は《優先》を切り替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。

点滅→点灯

<台所リモコン表示画面>

<一度設定すると記憶します>

2 温度を調節する(変更しないときは温度を確認する)

優先表示確認

お湯の温度

3 給湯栓を開ける

燃焼表示点灯

4 給湯栓を閉める

燃焼表示消灯

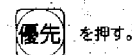
(目安の温度:℃)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
食器洗いなど		シャワー、給湯など					給湯など					高温	

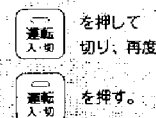
※運転スイッチを「切」にし、再度使用するとき、前回の温度が「75℃」のときは、安全のため「60℃」変わります。

お湯の温度は、優先ランプが点灯しているリモコンで調節します

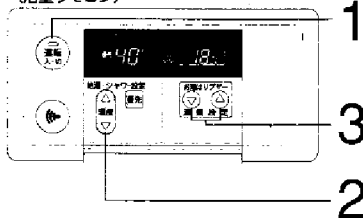
浴室リモコンで調節したいが優先ランプが点灯していない

 を押す。

台所リモコンで調節したいが優先ランプが点灯していない

 を押して切り、再度

 を押す。

〈優先〉を表示し、そのリモコンでお湯の温度の調節ができます。

使いかた

お湯はりブザーの鳴らしかた

(ここでは台所リモコンでご説明します)

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうのふたをする。

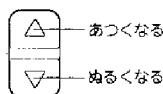
<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチ押す

<一度設定すると記憶します>

2 温度を調節する (変更しないときは温度を確認する)

優先表示確認

優先 42℃

お湯はりの温度
(例：42℃)

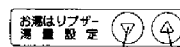
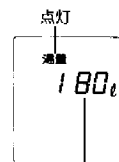
●お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの湯量が少なくなります。
●残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
●前日などの残り湯(水)があるときは、設定した温度にはなりません。

浴そうにお湯をはるとき、お湯の量を設定しておくと、その量になったときにリモコンのブザーが約10秒間鳴ってお知らせします。
(お湯は自動的には止まりません)

お湯はりの温度の目安 (℃)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

<一度設定すると記憶します>

3 湯量を調節する (変更しないときは温度を確認する)

40～260(20ℓきざみ)・300・350・400・990ℓの値で調節できます。(目安の量)

㊟ 990ℓの場合、ブザーは鳴りません。

お湯はりの湯量 (例：180ℓ)
※3秒後時計表示に変わります。

<浴室リモコンの場合>

お湯はりの湯量 (例：180ℓ)

4 浴そうの給湯栓を開ける

5 ブザーが鳴ったら給湯栓を閉める

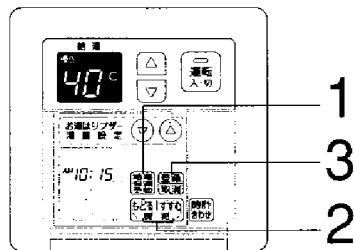
ブザー(ピッピッ音)が鳴ったら設定量お湯はりしました。
お湯を止めてください。

㊟ 990ℓの場合、ブザーは鳴りません。

使いかた

給湯保温運転の予約のしかた

（台所リモコン）

1
3
2

給湯保温運転・給湯保温予約

*お湯を出していないときでも燃焼して本体内のお湯を暖め、保温し、給湯栓を開けたとき早めにお湯が出るようにするのが**給湯保温運転**です。*
***給湯保温予約**で、給湯保温運転をする時間帯をあらかじめ設定して使用します。*

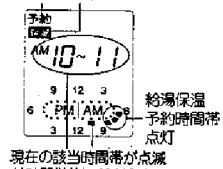
AM10時15分に給湯保温予約の操作をした場合で説明します

給湯保温予約の設定前の準備

1．給湯温度を確認する。
2．現在時刻が正しいかどうか確認する。（「現在時刻を合わせる」☞P12）

弊社出荷時は、AM6時～AM9時に設定しています。

1 給湯保温予約スイッチ押す

スイッチを押して約3秒後、下の表示に変わります。

現在の該当時間帯が点滅
（1時間単位＝AM10時～AM11時）
<AM10時15分に設定した場合>

予約時間を追加・変更しないとき

予約時間を追加・変更するとき　例：AM6時～AM9時とPM5時～PM7時に給湯保温予約する場合

1 時刻設定スイッチでPM5時～6時にあわせる

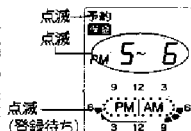
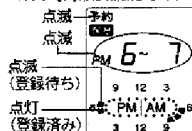
2 登録/取消スイッチ押す

PM5時～6時が登録されます。
（次の時間帯が点滅します）

3 登録/取消スイッチ押す

PM6時～7時が登録されます。
（次の時間帯が点滅します）

点滅
点滅
PM 7～8
点滅（登録待ち）
点灯（登録済み）

予約設定には必ず2時間以上のOFF時間をもうけて下さい。
ガスメータ（マイコンメータ）にはガス漏れ検知機能が内蔵されており、24時間連続保温を30日以上おこなうと、ガス漏れと判断しランプが点滅することがあります。

＜登録を取り消すには＞

その時間帯が点滅しているあいだは、登録/取消スイッチで、その時間帯の「登録」と「登録の取り消し」が交互にできます。

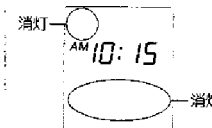
予約時間帯ではないが、すぐ給湯保温運転したいとき

運転スイッチが「入」になっていることを確認し、登録/取消スイッチを押す。

※押した時刻から1時間のみ、給湯保温運転します。

給湯保温予約をしていないとき（給湯保温予約表示が消えているとき）は、この操作をしても給湯保温運転できません。

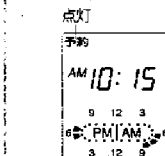
給湯保温予約運転が必要ないとき

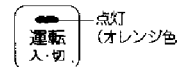
給湯保温予約スイッチを押す。

給湯保温予約運転を変更するとき

給湯保温予約スイッチを押していったん切り、

もう一度操作1からやりなおす。

2 給湯保温予約スイッチ押す

表示が現在時刻に変わり、給湯保温予約が設定されました。

給湯保温予約スイッチを押さず、そのまま約30秒操作しなければ、その状態で給湯保温予約が設定されます。

予約時刻になると給湯保温運転開始

運転ランプがオレンジ色に点灯すると、給湯保温運転になります。（燃焼すると、給湯燃焼表示点灯）

（燃焼時）
給湯燃焼表示点灯

給湯保温運転中に運転スイッチを「切」にすると、給湯保温運転は停止します。
運転スイッチを「切」にしても給湯保温予約は設定されたままです。

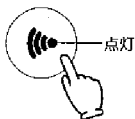
予約時刻になると本体内のお湯を暖めはじめます。
充分に暖めるまで数分間時間がかかります。（季節によって変わります）

使いかた

浴室からの呼び出しかた（浴室リモコンがある場合）

（浴室リモコン）

台所側（台所リモコン）を呼び出すことができます。

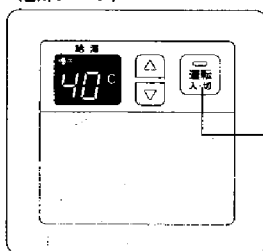
呼び出しスイッチ　押す

呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

・台所リモコンでブザーが約3秒間鳴ります。この間ランプが点灯します。

使いかた

操作確認音の消しかた、鳴らしかた

台所リモコン、浴室リモコンそれぞれで設定しますがここでは台所リモコンでご説明します

（台所リモコン）

リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という音がします。お好みによりこの音を鳴らないようにしたり鳴るようにしたりできます。
（お買い上げ時は鳴るように設定しています）

運転スイッチ
5秒以上 押し続ける

呼び出しブザーおよびお湯はりブザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

使いかた

冬期の凍結による破損予防-1

冬期には本体内の水が凍結し、本体を破損することがあります。
次のいずれかの方法により凍結による破損を予防してください。

通常の寒さのとき（外気温-15℃までで無風のとき）

気温が下がってくると、**凍結予防ヒータ**が自動的に作動して本体内を保温し、凍結を予防します。

※リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

●電源プラグを抜くと凍結予防ヒータは作動しませんので、電源プラグは抜かないでください。

●凍結予防ヒータでは、給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または、電気ヒータを巻くなどの処置をしてください。
（わからないときは、販売店に確認してください。）

凍結して水が出ないとき

1．ガス栓・給水元栓を閉める。
2．リモコンの運転スイッチを切り、給湯栓を開ける。
3．ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4．水が出るようになっても、本体や配管から水漏れがないかよく確認の上使用してください。

●凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。本体の故障の原因となります。
●凍結により本体が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

冷え込みが厳しいとき

次の要領で給湯栓から水を出して、凍結を予防してください。

1．給湯保温予約運転を中止する。（☞P18）
2．運転スイッチを「切」にする。
3．ガス栓を閉める。
4．お風呂の給湯栓より少量の水（1分間に約400cc…太さ約4㎜）を流したままにしておく。

5．流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。

●この方法は、本体だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
●この処置をしても凍結するおそれのある場合には、21ページの要領で水抜きをおこなってください。

再使用のとき

1．給湯栓を閉める。
2．運転スイッチを「切」にした後、「入」にする。
3．ガス栓を開ける。
4．給湯栓を開け、お湯が出ることを確認する。

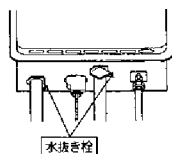
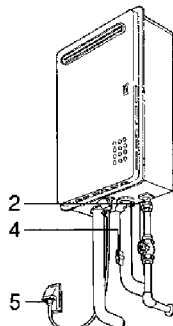
冬期の凍結による破損予防 -2

長期間使用しないとき

以下の要領で水抜きをしてください。

⚠注意 高温注意　お湯の使用後は、本体内のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

集合住宅の場合は、床やパイプシャフト内部に水がこぼれないよう容器などで排水を受けてください。

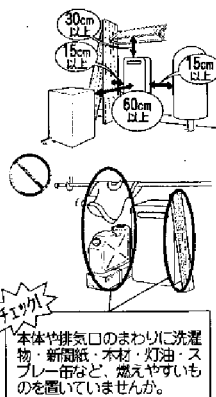
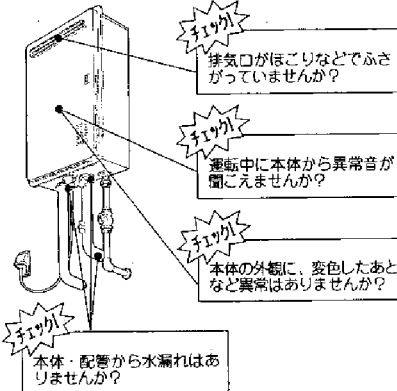
1 運転スイッチを「切」にする。
2 ガス栓を閉める。
3 給水元栓を閉める。
4 リモコンの運転スイッチを「切」になったことを確認してから電源プラグを抜く。**ぬれた手でさわらないで**
5 すべての給湯栓を全開にする。
6 水抜き栓を左に回して開ける。
（水抜き栓からお湯または水が約700cc出ます。）
7 完全に排水したことを確認し、すべての水抜き栓およびすべての給湯栓を閉める。

●この方法では、給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。
必ず保温材または、電気ヒータを巻くなどの処置をしてください。
（わからないときは、販売店に確認してください。）

再使用のとき

1．すべての水抜き栓が閉まっていることを確認する。
2．すべての給水元栓を開まっていることを確認する。
3．11ページの「初めてお使いなるときは」の手順1～4にしたがってください。

日常の点検・手入れのしかた

点　検（月１回程度）

⚠注意 高温注意　お湯の使用後は、本体内のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

お手入れ（月１回程度）

本　体

本体の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、十分水気を拭きとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤をお使いください。

リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で拭いてください。

●リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。
変形する場合があります。
●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
（台所・増設リモコンは防水タイプではありません。）

<定期点検のすすめ（有料）>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら-1

次のことをお調べください

運転ランプが点灯しない	●停電していませんか？ ●電源プラグが差し込まれていますか？
給湯栓を開いても お湯が出ない 使用中に消火した	●ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ●断水していませんか？ ●給湯栓はじゅうぶん開いていますか？ ●凍結していませんか？(☞P20) ●ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？ ●ＬＰガスの場合、ガスがなくなっていませんか？
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	●ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ●リモコンの給湯温度設定は適切ですか？(☞P13, 14)

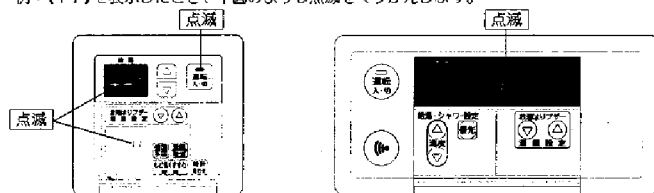
次のような場合は故障ではありません

給湯栓を絞りすぎて 水になった	給湯栓から流れるお湯の量が１分間に約3.5ﾘｯﾄﾙ以下になったとき消火します。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯栓を開いても すぐお湯が出てこない	本体から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
寒い日に排気口から 白い煙が出る	冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。
運転を停止しても しばらくの間ファンの 回転音(ブ～ン)がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。
低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
本体の水抜き栓(給湯配管側の過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある	製品の機能上(しくみ)であり、異常ではありません。
停電または電源プラグを 抜いた後、給湯温度が変 わってしまう	停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので確認してください。
お湯を使ってないのに 燃焼する(燃焼の音がする)	給湯保温予約をしている場合は、予約時間帯になると燃焼します(燃焼の音がします)。

故障かな？と思ったら-2

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、その原因を故障表示(点滅)してお知らせします。
(台所リモコンは運転ランプも点滅します)
下表に応じた処置をしてください。

例：(11)を表示したとき、下図のような点滅をくりかえします。

表示	原因	処置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。
11	給湯の点火エラーが生じたため	ガス栓が開いているか確認し、運転スイッチをいったん「切」にして給湯栓を開き、再度「入」にして表示が出なければ正常です。
99	本体の燃焼に異常が生じたため	修理を依頼してください。

以下の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

- 上記以外の表示（例：61など）が出るとき
- 上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

23~25ページの「故障かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

品名 ………… 34-895・34-896・34-897型
(下記のようなラベルを本体の正面左下に貼付けてあります)
(例) (N) 34-895(U) 大阪ガス株式会社 02

お買い上げ日 ‥ (保証書をご覧ください)
異常の状況 ‥‥ (故障モード表示など、できるだけくわしく)
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日

保証について

この製品には保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

修理用性能部品の最低保有期間について

この製品の修理用性能部品の最低保有期間は、製造打切後10年です。
但し、最低保有期間経過後であっても、修理用性能部品の在庫がある場合は有料修理いたします。
なお、修理用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで本体を移設されるときは、本体(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業所・お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、本体の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

仕様表／能力表

製品名		34-895型	34-896型	34-897型
型式名		GQ-2421WXS	GQ-2421WXS-T	GQ-2421WXS-TB
種類	設置方式	屋外設置形		
	給湯方式	先止め式		
点火方式		放電点火式		
水圧	使用水圧	78.5～981kPa（0.8～10.0kgf/㎠）		
	作動水圧	9.81kPa（0.1kgf/㎠）		
最低作動流量		3.5ℓ/分		
外形寸法		高さ600㎜×幅350㎜×奥行200㎜		
質量（本体）		22kg	23kg	
接続口径	給湯	R3/4		
	給水	R3/4		
	ガス	R1/2		
電気関係	電源	AC100V（50/60㎐）		
	消費電力(50/60㎐)	60W/60W	72W/72W	
		（凍結予防ヒータ125W）		
	電源ケーブルの長さ	1.8m		
温度制御方式		電子式ガス比例制御方式		
安全装置		立消え安全装置、空だき防止装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		

使用ガス		1時間当たりのガス消費量（最大消費量）	出湯能力（最大時）（ℓ/分）	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用	13A	52.3kW（45,000kcal/h）	24	15
LPガス用		52.3kW（3.75kg/h）	24	15

※34-896、34-897型については、ガス質13Aのみです。

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・出湯能力は湯水混合の計算値です。
　但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

メモ

メモ欄として活用してください。

メモ

メモ欄として活用してください。

メモ

メモ欄として活用してください。